



小峰だより

第148号

10月

小峰ふれあい自然郷（都立小峰公園）は、都立秋川丘陵自然公園のほぼ中央部に位置し、谷戸田、せせらぎ、桜尾根、雑木林で成り立ち、里山の景観を残す魅力的な公園です。その中心施設である小峰ビジターセンターは、秋川丘陵自然公園の中心的な活動拠点です。

発行者: 小峰ビジターセンター
発行日: 令和2年 10月1日

季節の見どころ ~この時期の、スタッフおすすめの自然~

しゅうめいぎく

秋 明 菊

~ 菊花のよう 綿花のよう ~



秋陽にひらくシュウメイギク
(キンボウケ科 イチリンソウ属)

その一輪が大きく、また幾枝にも分岐し花を付けるので、開花の時期には見ごたえのある姿になります。離れたところから眺めると、あたかも菊が群生して咲いているように見え、名前に菊が付くことが理解できることでしょう。

初冬には地上部が枯れるため、庭植えでは花期が終わると刈り込んでしまいます。しかし、刈らずに放置すると、大輪の跡には一風変わった姿の種子が現れます。球状にまとまった種子から解き放たれるように、白い綿毛が湧きたちます。この姿はもう菊ではなく、まるで綿花のよう。綿毛を従えた小さな種子は、やがて寒風に散ります。

ススキやコスモスがたゆたう頃、庭先や畠の隅で咲き誇る花、秋明菊。すっと伸びた草丈1mほどに、7cmほどの大きな花を開きます。名前には菊とありますが、菊の仲間ではありません。

中国大陸が原産で、仏門の修行僧が持ち帰ったという説が最も有力です。仏教絡みの伝来とくれば、相当昔のことのように思えますが、奈良時代の万葉集には記載がありません。秋明菊を指している植物が記されるのは、いまから600年ほど前のこと。室町時代になります。ともすれば、某TV放送の大河ドラマには登場しない、大陸由来としては比較的新しい植物です。



里山の庭先に群れ咲く
花期は9月から11月。
白色もしくは薄紅色のものがほとんど。
種子を産するが、地下茎の成長によって株を増やしていく。
野生化したものがあるというが、それらの多くは植栽が放置されたものと思われる。



花後に現れる種子の綿毛
非常に軽い素材。本物の綿毛同様、糸を紡ぐことができる。



八重咲きのシュウメイギク
はじめ日本に持ち込まれたものは、八重咲きであったとする説がある。

イベントのご案内

里山歴史体験

*要申し込み

「紅葉彩る小峰の古道めぐり」

11月20日(金) 9:30~12:30
23日(月祝) 9:30~12:30
※両日とも内容は同じです。
※ご参加はいずれかの日をお選びください。

紅葉彩る小峰公園とその周辺をレンジャーの案内でめぐる古道ハイクです。

今回は100年前に起きた自然災害、そして乗り越えた里人の記憶を、古道八王子みちに探します。ガイドブックには載っていない、特別な里山歴史体験をご一緒に！

募集定員：各回10名（応募者多数の場合は抽選）

対象者：小学4年生以上

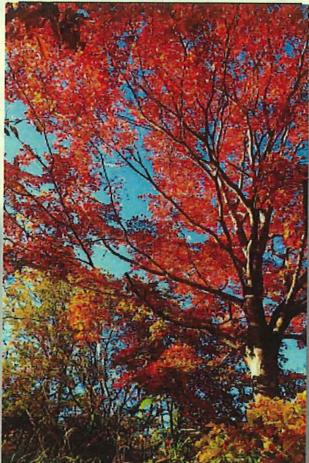
大人の方のみの参加、大歓迎！

(小学生の参加には、保護者の同伴が必要です)

申込締切：11月10日(火)

※募集要件の詳細、申し込み方法などは、ホームページやチラシをご参考ください。

紅葉彩る古道八王子みち
(小峰公園内)



レンジャーによる地域の歴史解説



こんなことありました！

【谷戸田の稻作2020】9月12日(土)

●第5回 案山子づくり

秋雨前線の雨空の下、田んぼに立てる案山子をつくりました。気候の関係か、今年はスズメの姿が多く見られます。たわわに実った米を食べられてしまわないよう、案山子に守っていただきましょう。



人形は顔がいのち!?

◆ハイキングコースで出会う

小峰ビジャーセンターでは、周辺のハイキングコースを定期的に巡回しています。先日は大型の哺乳類“カモシカ”とバッタリ！都立秋川丘陵自然公園の森では、自然の様々なシーンに出会えますよ。



自然環境や登山道等の状況を
関係機関へ報告しています。

おしらせ

休館日・駐車場閉場日のおしらせ

小峰ビジャーセンターは下記のとおり、休館日および駐車場閉場日がございます。

- 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
- 年末年始（12月29日～翌年1月3日）

また、台風や降雪などの荒天時には、臨時の休館、駐車場閉場となる場合もございます。

★感染症防止対策として、消毒液や石鹼の設置、設備供用部の清掃等、衛生管理をいたしております。公園ご利用のお客様には、他者との近接を避け、マスク着用や手洗い励行等のご協力をお願いいたします。

残暑がおさまった小峰公園や周辺の山野では、さまざまな生きものが活発に動き出します。その中には、危険な生きものも見られ、ヘビやハチなどに出会う機会が多くなります。

十分に注意していただき、自然観察をお楽しみください。詳しくは小峰ビジャーセンターまでお尋ねください。



マムシ、そっとしておこう。

～秋の自然観察、ご注意を！～

小峰ビジャーセンター

〒190-0152 東京都あきる野市留原 284-1

TEL: 042-595-0400

●開館 9:00～16:30 P30台

●休館日 月曜日(夏休み期間を除く)、年末年始

小峰ビジャーセンター 検索

※イベント情報や最新
の自然情報などが
閲覧できます！

お客様サポートセンター

(協会の事業全般に関するお問い合わせ)

TEL: 03-3232-3038

8:30～17:30

(土・日・祝、年末年始を除く)